

米国政府に「世界一危険な」普天間基地の即時閉鎖・返還を毅然として要求することを求めます。

私たちは25年間、全国各地から自転車でリレー方式により、6月23日、沖縄慰霊の日前後にスタートし、8月6日ヒロシマ、8月9日ナガサキ、六ヶ所村を最終目的地として、全国の人々と連帯しながら、反戦、反基地、反核・平和、人権、環境保護を訴えているピースサイクルという市民団体です。

今年は結成25年を祝い、全国から参加するイベントを5月29日に企画しています。また、5月28日、6回目の「国会ピースサイクル」として関係省庁に市民の声を平和のメッセージとして届けます。

私たちは、6回目のピースサイクルにあたって、2つの点を鳩山首相に要請したいと思えます。

1つは、鳩山首相と民主党が選挙で公約していた「最低でも沖縄県外」という公約についてです。

「最低でも沖縄県外」という公約をかなぐり捨てて、名護市辺野古に普天間基地（米海兵隊の飛行場）を移設。さらに「徳之島に普天間の航空部隊の一部、もしくは訓練の一部をもっていく」案とセットで地元で提案されたことです。

政府の提案に対して、沖縄でも徳之島でも、全県民・全島民が反対する中で、この「移設案」は宙に浮いています。

当然です。徳之島では4月18日、住民の6割、1万5千人が参加して米軍基地移設反対郡民大会が開かれ、鳩山政権に「移設NO!」を突きつけていました。

4月25日には、9万人以上が参加した沖縄県民大会でも「県内移設反対」の固い意思、が沖縄の民意として示されています。

ところが、5月4日、沖縄を訪問した鳩山首相は、仲井真県知事らに辺野古移設を通告し、5月7日、徳之島・天城・伊仙の3町長が首相官邸で首相と会談した際にも、「普天間の機能の一部を引き受けてほしい」という要請をしています。いずれの自治体でも受け入れを拒否しています。

米軍普天間基地の無条件撤去を求める“島ぐるみ”の声に、日米政府がどう応えるのか、いよいよ正念場の時です。

あらためて、県民・島民大会に集まった人たちの普天間基地の即時閉鎖・返還、名護市辺野古やキャンプ・シュワブ陸上部、勝連半島沖などへの「たらいまわし」の拒否。鹿児島県、徳之島など県外の「移設」候補地とされる地域での受け入れ拒否の現実を直視してください。鳩山首相は、行き詰った「移設」探しを断念し、普天間基地の無条件撤去のための対米交渉に取り組むしか道が残されていないことを認めてください。

さらに、問題となっている海兵隊の存在が日本を守る「抑止力」論には、日米両政府自身が、そのような事実がないことをよく知っているのではないですか。今こそ、普天間基地の撤去を第一歩に、「基地のない日本」を求めていくことが大きな課題となっていることを沖縄県民、徳之島島民を始め、国民の中で論議を深めていくときだと思えます。

私たちは以下のことを、鳩山首相に強く要求します。

1. 徳之島への普天間基地の移設および訓練の移転を行なわないこと
2. 沖縄・名護市辺野古への普天間基地移設案を撤回すること
3. 米国政府に「世界一危険な」普天間基地の即時閉鎖・返還を毅然として要求すること

地球温暖化対策の一環として進めている原発推進政策を見直してください。

2つは、鳩山首相が、温暖化対策の政策目標としてCO²等排出量を2020年までに25%削減（1990年比）を明記し、記者会見や国連での国際公約もしています。

ところが、政府の温暖化対策では、CO²の削減は地球温暖化防止とされていますが、本質的な見方をすれば、エネルギーの安全保障や産業・経済の発展を戦略的に組み込んだ持続可能な社会の実現を目標にすべきです。エネルギーの自給率が低い日本は、中東に89%も依存しています（米国が21%、フランス28%、ドイツ7%、イギリス1%）。

民主党のマニフェストには「1次エネルギーの総供給量に占める再生可能エネルギーの割合を2020年までに10%程度に引き上げる」とあります。産業政策として再生可能エネルギー（太陽光、風力、小水力、バイオマス、波力、潮力、地熱等）や電気自動車に代表される高性能2次電池等の開発、そしてスマートグリッドなどの制度や仕組などの設計に集中し、環境と安全、経済の3つをターゲットにし新しい産業革命を目指すべきです。

さらに問題は、温暖化対策の要に原発推進政策が盛り込まれていることです。原発はクリーンなエネルギーではありません。原発を海外に輸出する動きが強化されていることにも危惧しています。私たちは、長年にわたって核燃料サイクルの見直しを求めてきましたが、あらためて、再生可能なエネルギーへのシフトを強化し、原発推進政策の見直しを強く求めます。

ピースサイクル2010 全国ネットワーク

連絡先 東京都千代田区三崎町2-6-2 ダイナミックビル5F たんぽぽ舎内

担当者 吉野 信次 (090-4606-9634)

平田 一郎 (080-5386-9921)